



## nexis.com ニュース検索

Power Search 機能の利用方法

### レクシスネクシス・ジャパン株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-20 虎ノ門 19MTビル

TEL: 03-3509-1844 (代表) 03-3509-1850 (サポート)

FAX: 03-3509-1845

e-mail: [support@lexisnexis.jp](mailto:support@lexisnexis.jp)

Homepage: <http://www.lexisnexis.jp>

(2001.10)

## ソースの選択

### 1) ニュースソースの種類と構成

LexisNexis のニュースソースは、主に英文の新聞、雑誌、通信などの記事、ニュースレター、テレビ／ラジオ番組のトランスクリプトなど、多様なソースからドキュメントを蓄積しています。ほとんどのファイルは記事全文を収録しています。

これらのドキュメントは、検索可能な単位として“ファイル”に分割されています。様々な切り口でファイルに分割されているため、検索の目的に適合するファイルを選択する必要があります。

時系列ファイル： ニュースソース全体を時間の区切りで分割したファイル

<例>

- News Group File, Most Recent 60 Days
- News Group File, Most Recent 90 Days
- News Group File, Most Recent Two Years
- News Group File, All

種類別ファイル： 媒体の種類別に分割したファイル

<例>

- Magazine Stories, Combined
- Major Newspapers
- Major World Newspapers
- Newspaper Stories, Combined Papers
- Newsletter Stories
- Transcripts
- Web Publications Combined
- Wire Service Stories

産業／トピック別ファイル： トピック別ファイル

<例>

- Company News, All
- Industry News
- Markets and Industry News
- Business/Finance News
- Computer/Communication Stories
- Energy and Utility News Stories
- Legal News Publications
- Advertising, Marketing and  
Public Relations News
- People-Related News, All
- Pharmaceutical and Cosmetics Stories
- Sports News

地域別ファイル： 地域で分割

<例>

- US News, Combined
- Non-US News
- South America Information Sources
- Asia/Pacific Rim Stories
- European News Sources
- Middle East/Africa News  
Information Sources

言語別ファイル： 言語で分割

<例>

- Dutch Language News
- French Language News Sources, Combined
- German Language News
- Italian Language News
- Spanish Language News

個別ファイル： 個別ソースファイル

<例>

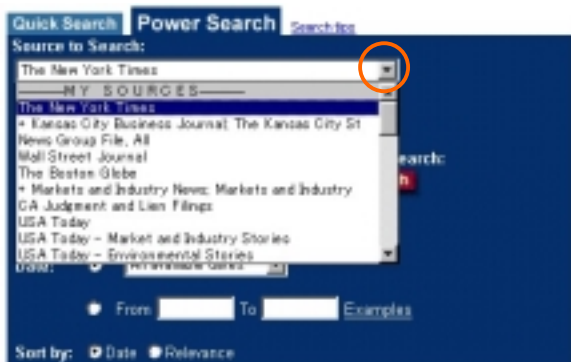
- Financial Times
- Gurdian
- The Daily Yomiuri
- The Japan Times
- Korea Times
- Asian Wall Street Journal
- Los Angeles Times
- The Nation
- The New York Times
- South China Morning Post
- USA Today
- Wall Street Journal
- The Washington Post
- Business Week
- Chemical Week
- Computerworld
- The Economist
- Forbes
- AP Online
- Business Wire
- PR Newswire
- Le Monde
- El Pais

## 2)ソースの選択

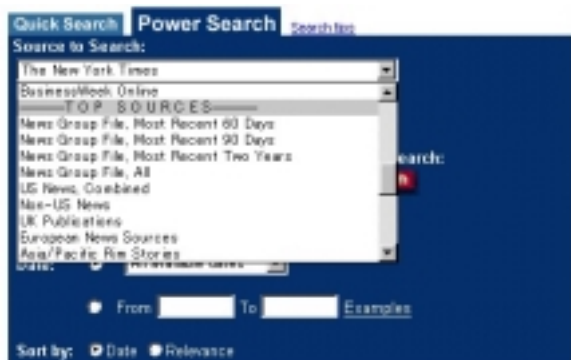
Power Search 機能では、様々な方法で検索するソースを選択することができます。

### ①プルダウンリストから選択

“My Source”として保存済みのソース、またはよく利用されているソースとして予め設定されている”Top Source”から選択



プルダウンリストの下矢印を押すと、ソースリストが展開されます。上部には、“MY SOURCES”として登録済みのソースが並びます(登録方法は4ページ、7を参照)。



下方にスクロールすると、“TOP SOURCES”リストが表示されます。よく利用されるグループファイルが予め登録されています。

②”Find More Sources”機能:①のプルダウンリストにないソースを選択。3種類の方法があります。

### Source Directory

カテゴリ別のフォルダーからディレクトリ的にソースをたどる

### Popular Sources:

よく利用されているニュース、企業情報のソースリストから選択

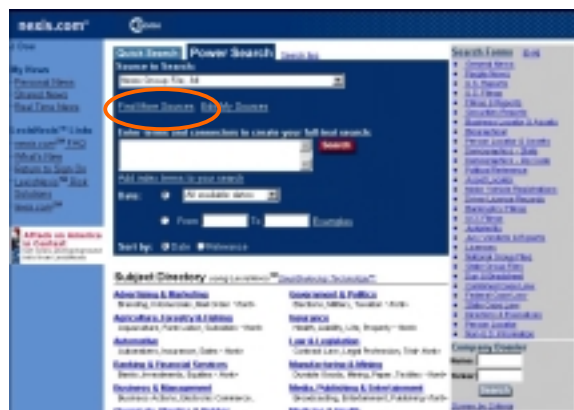
### Find a Source

アルファベットごとのフォルダからソース選択 (または名称で検索)

例として、“The New York Times”の選択方法を説明します。

### Source Directory 機能

1. ”Find More Sources”をクリック



2. ”News”をクリック



3. 右側の列には、この段階で選択可能なニュースファイルが表示されます（時系列、または媒体種別グループファイル）。網羅的な検索を行う場合、右の列から検索対象を選択します。

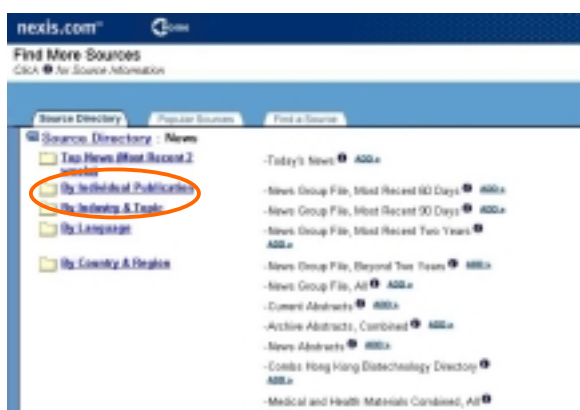
左列には、Top News, Individual, Industry & Topics, Language, Country & Region の5つのフォルダがあります。左列のファイルと別の切り口でソースを選択する場合に更にクリックします。



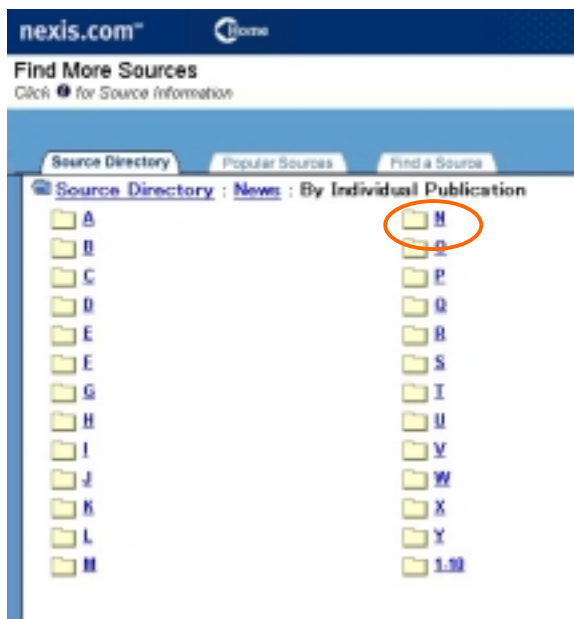
個別ニュースソースや産業別トピックスなどに限定する場合、適当なフォルダを選択してクリック

検索するファイルを選択してクリック

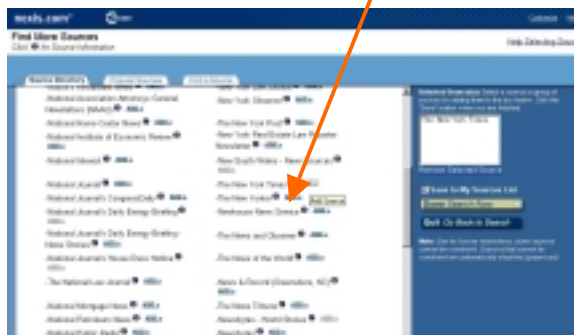
4. 左列の”By Individual Publication”をクリック



5. アルファベットリストが表示されるので、”N”をクリック



6. N で始まるニュースファイルが、名称アルファベット順に表示されます。  
”The News York Times”横の ADD をクリック



7. リストの右にある Selected Sources ボックスに、”The New York Times”が入ったことを確認し、”Done Search Now”をクリック。



選択したソースを”MY SOURCE”として登録するには、チェックボックスにチェックを入れます

### **Popular Source 機能**

よく利用されているニュース、及び企業情報の一部のソースが、“Popular Source”として予め設定されています。登録ソースは以下の通りです。

#### <News Publications>

- Agence France Presse
- Asia Pulse
- The Associated Press
- AP Online
- Bloomberg – All Bloomberg News
- Business Week
- Business Wire
- Chicago Tribune
- The Daily/Sunday Telegraph (London)
- Der Spiegel
- The Economist
- Financial Times (London)
- Forbes
- Fortune
- Frankfurter Allgemeine Zeitung
- Global News Wire
- The Guardian (London)
- The Independent and Independent on Sunday (London)
- Le Monde
- Les Echos
- Los Angeles Times
- The New York Times
- PR Newswire
- The Times and Sunday Times (London)
- The Toronto Star
- USA Today
- The Washington Post

#### <Company & Financial Publications>

- Company Intelligence – US
- Company Intelligence International – Int'l Company Profiles
- Directory of Corporate Affiliations
- Disclosure(R) Online Database– US Public Company Profiles
- Global Duns Market Identifiers
- Duns Market Identifiers Plus
- Duns Non-US Market Identifiers
- EDGARPlus(R) Database
- Extel Cards Database

- Financial Post Corporate Surveys– International Company Profiles
- Hoover's Company Profile Database
- ICC Full-Text Quoted Company Annual Rpts – Int'l Company Profiles
- US Business Directory
- Mergerstat M&A Database
- Standard & Poor's Descriptions Plus News
- Worldscope-International Company Profiles

1. Popular Sources のタブをクリックし、検索するソース横の”ADD”をクリック



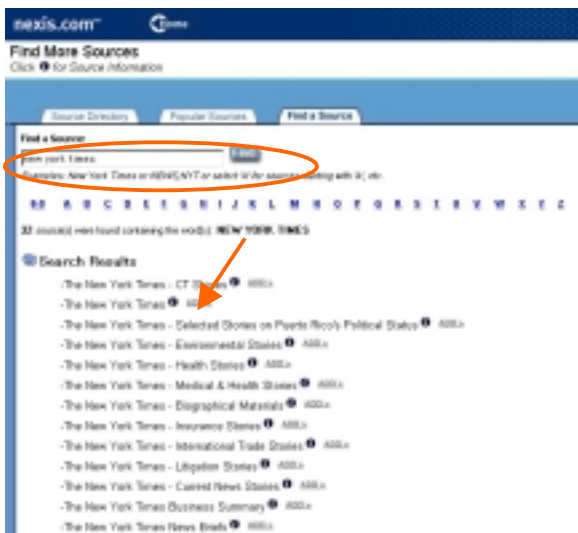
## Find a Source 機能

アルファベットごとのフォルダからソース選択(または名称で検索)機能です。

### 1. Find a Source タブをクリック



2. テキストボックスに名称を入れ、Find をクリックし、検索結果から該当するソースを選択。ADD をクリックする。

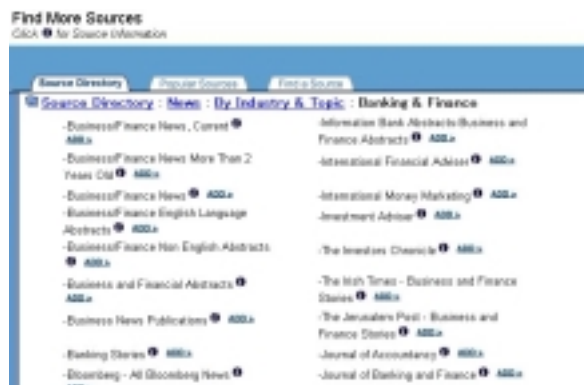


<参考>

Source Directory の各フォルダについて  
By Industry & Topics



By Industry & Topics : Banking & Finance  
業界誌などのリストが表示されます。



By Country & Region

左列には地域、国名のリスト、右列にはグループファイルが並びます。



## 検索式の作成

LexisNexis データベースに収録されているデータは殆どが全文記事です。検索条件にあるキーワードを利用する場合、指定をしない限り全文を対象に検索を行います。

全文検索では膨大な結果を得ることになり、より精度の高い検索を実現するために、セグメント検索という方法を利用することも可能です。セグメントとは、ドキュメントを構成する見出し、リード、本文、著者名などの項目で、検索の対象を個々のセグメントに限定することができます。

以下の検索例をご参照ください。

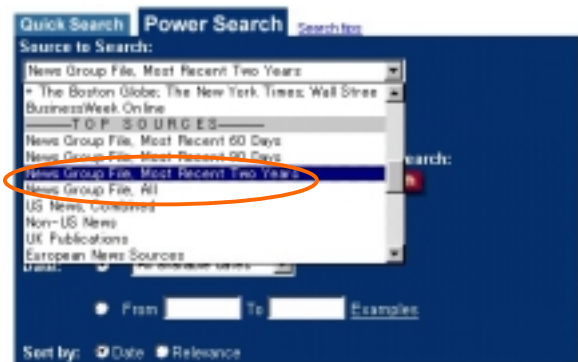
<例>

検索対象: News Group File, Most Two Years

課題: 日本のIT関連法案について

まず全文で検索してみましょう。日本とITのキーワードで検索します。

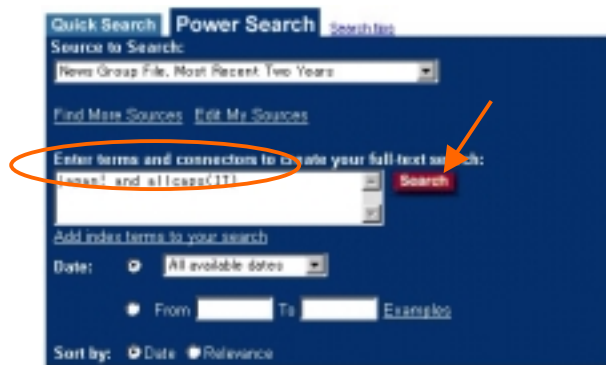
1. プルダウンリストの TOP SOURCES より、"News Group File, Most Recent Two Years"を選択



2. 検索条件を入力し、Search をクリック

### Japan! and allcaps(IT)

Japan! !により Japanese などの語尾変化も検索  
 and 前後の語句両方を含む条件を作成  
 allcaps(IT) ()内の語句を大文字指定。  
 代名詞の it 等を省きます。



上記条件で全文検索を行います。

3. 1,000 件以上のヒット、以下のエラーメッセージが表示されます。Edit Search をクリックし、検索条件を修正します。



nexis.com では1度の検索で1,000 件以上の結果を抽出することができません。このような場合、以下のような方法で検索条件を修正します。

- キーワードを追加する  
 ex. legislation (立法)などを and 結合子で追加
- 期間を限定する
- 全文検索からセグメント検索に修正する
- 検索対象を変更する(特定の新聞、雑誌など)

次に、上述の検索条件で、特定のセグメントを対象に検索をしてみます。

## セグメント検索

ニュースソースの場合、代表的なセグメント種類は以下の通りです。検索条件は、**セグメント名(キーワード)**の形式で入力します。

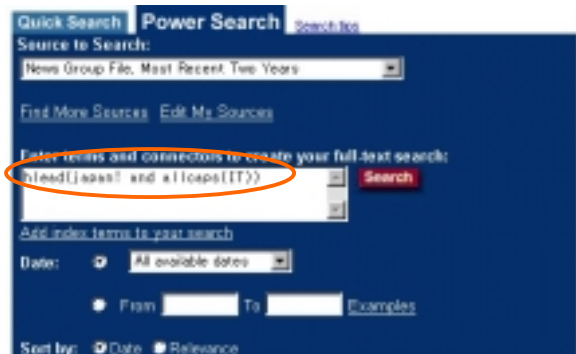
Headline	見出し
Lead	リード(第一文)
Hlead	見出しとリード
Byline	著者名
Body	本文
*Subject	サブジェクト
*Company	企業名
*Terms	索引語

\*マークのセグメントは、LexisNexis 与したインデックスです(後に詳述)。規格化された索引用語とともに用います。

一般にニュース検索でよく利用するセグメントは、headline, hlead です。

### 4. Hleadセグメントで検索する

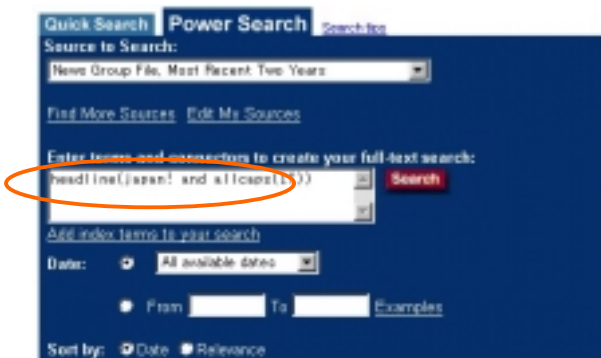
“Edit Search”で2. の検索条件を修正します。



**hlead(japan! and allcaps(IT))**

\* 見出しとリードに Japan!と IT を含む

### 5. Headline セグメントで検索



**headline(japan! and allcaps(IT))**

\* 見出しに Japan!と IT を含む

Headline セグメント検索の結果、726 件の記事がヒットしました。

次に、Smart Indexing ツールを利用して、索引語を検索式に追加します。

### Smartindexing Technology

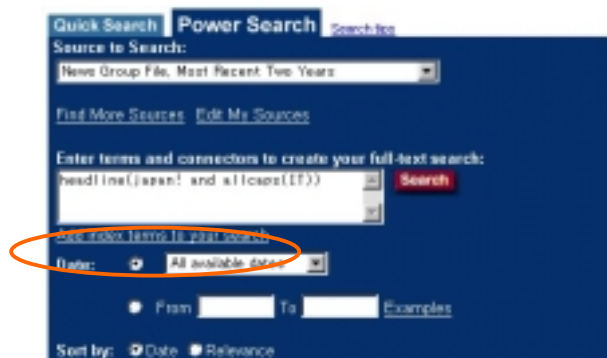
LexisNexis データベースでは、独自の索引技術によりニュースドキュメントに索引語(インデックス)を付与しています。ドキュメントの内容を、サブジェクト、企業名、地域、人物(著名人)、組織名の観点で分析し、該当するインデックスを各ドキュメントに設定しています。

付与されたインデックスは、それぞれ subject, company, country, name,といったセグメントに入ります。

通常のキーワード検索では、入力したキーワードそのものが本文中に出現するものだけを抽出するため、類義語などを自分で検索条件に組み入れなければなりません。インデックス機能を利用すると、簡単な検索条件で網羅的な検索をすることができます。

「法案」に関するインデックスを検索に追加します。

### 6. “Add index to your search”をクリックし、検索式にインデックスを追加



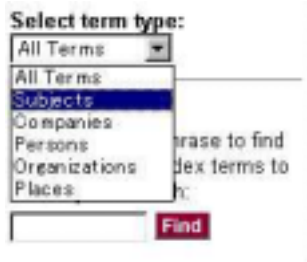
7. 別ウィンドウが開きます



Lawmaking カテゴリの”LEGISLATION”を選択。右側の”add”をクリックすると、自動的に検索式に追加されます。



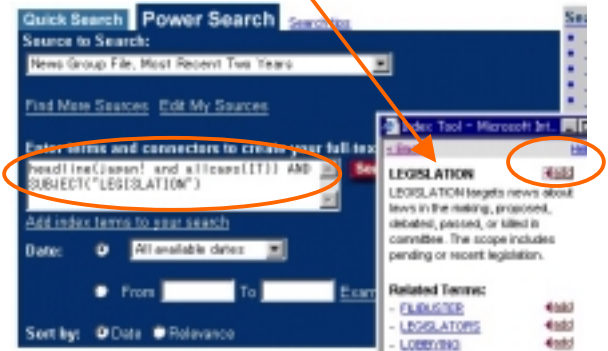
8. プルダウンリストからインデックスの種別を選択



9. Subject を選択すると、メインピックのリストが表示されます。



「法案」に関するインデックスなので、「Law & Legislation」を選択



11. 15 件ヒット。Expanded List 形式で表示すると、「LEGISLATION」が含まれていることが確認できます。



Smart Indexing 技術、及び索引語のリストは以下のウェブサイトを確認できます。  
<http://www.lexis-nexis.com/infopro/products/index/default.shtml>

10. 関連インデックスのリストが表示。ここでは

## 参考—ブーリアン検索

ブーリアン検索を用いると、複数の単語または連語を論理的に組み合わせることでデータベースの検索をすることができます。LEXIS-NEXIS で利用できる主な機能をご紹介します。

### Connector : コネクター (論理演算子)

単語 (連語) や検索式同士の関連性を論理的に定義

コネクター	例	単(連) 語間の関係	使用目的(例)
OR	pretrial <i>or</i> pre-trial	いずれかの単語が含まれる	同・類義語、スペルの違い、省略語などを併せて検索する
AND	misrepresentation <i>and</i> fraud	両方の単語が含まれる	近接性は問わず文書中のいずれかに両方とも含まれる場合を検索
PRE/n	cable <i>pre/3</i> television	前の語が後の語の "n" 語前に現れる ("n" は 1-255 の間で指定可能)	語順が変わると意味が変わる場合に使用
W/n または /n	john <i>w/3</i> doe john <i>/3</i> doe	両方の語の間が "n" 語以内 ("n" は 1-255 の間で指定可能) 語順は指定しない	氏名 (姓・名) など、ミドルネームや語順の逆転を考慮に入れる場合; 近接演算
W/s	Sanction <i>w/s</i> frivolous	両方の語が同一の文章 (sentence) に含まれる	両方の語の関係が緊密な場合
W/p	rule 11 <i>w/p</i> sanction	両方の語が同一の段落 (paragraph) に含まれる	両方の語が一般的な関係
W/SEG	tax <i>w/seg</i> liability	両方の語が同一のセグメント内に含まれる	対象の単語やフレーズがドキュメントの特定部分(セグメント)に含まれる場合
AND NOT	tumor <i>and not</i> malignant	ドキュメント中に最初の語は含まれるが後の語は含まれない	検索上関連のない語やフレーズを排除する

注) 一つの検索式で複数のコネクターを使用する場合、優先順位は OR > W/n, PRE/n, > W/s > W/p > W/SEG > AND > AND NOT となります。式中かっこ ( ) でくくると優先順位を適宜変更することができます。

### Universal Character : ユニバーサル・キャラクター (ワイルドカード)

記号	機能	使用例	被検索語
!	前方一致 (語尾一括検索)	litigat!	litigator, litigated, litigation, litigating など (語幹が共通)
*	文字マスク検索 (語中では一文字、語尾では最大文字数に対応)	wom*n bank***	woman, women など (*に1文字) banker, banking など (*に最大3文字)

## Precision Search Tools : 文字特殊指定

LEXIS-NEXIS では特殊な指定を行わない限り、大文字・小文字、また単数形・複数形（基本形）を識別せずに検索します。下記の機能を利用して特殊指定を行うことができます。

記号	機能	使用例
<b>caps</b>	大文字指定（一文字以上）	<i>caps</i> (era) = Era を検索
<b>allcaps</b>	大文字指定（全文字）	<i>allcaps</i> (era) = ERA
<b>nocaps</b>	小文字指定（全文字）	<i>nocaps</i> (era) = era
<b>singular</b>	単数形指定	<i>singular</i> (computer) = computer
<b>plural</b>	複数形指定	<i>plural</i> (computers) = computers
<b>atleastN</b>	回数指定（検索用語の使用頻度）	<i>atleast3</i> (internet) = internet が3回以上使用されている文献を検索

## 日付けの指定

年、月、日付の単位で指定が可能です。=, >, < の記号または is, aft, bef の文字式のどちらかを使用します。

<入力例：月/日/年の順で入力>

**date = 1996** または **date is 1996** （1996年発行分）

**date > december 31, 1995** または **date aft december 31, 1995**

（1996年1月1日以降。1995年12月31日は含まれません）

**date < 1/1/1996** または **date bef 1/1/1996**

（1995年12月31日以前。1996年1月1日は含まれません）

<日付の入力形式例>

1999年7月24日 - **7/24/99**; **07/24/1999**; **Jul 24, 1999** など

1999年7月 - **7/99**; **07/1999**; **July, 1999** など

1999年 - **1999**